



権利侵害情報等の発信・拡散の事前対応 に関するTikTokの取り組み

— デジタル空間における情報流通の諸課題への対応に関する検討会ヒアリング —

2026年9月3日

TikTok Japan 公共政策本部

目次

1. 諸課題検論点整理の受け止め
2. 権利侵害情報等の発信・拡散に事前に対応することに資する取組
3. 災害発生時のインターネット上の情報流通に関する取組

1. 諸課題検論点整理の受け止め

論点整理の中で事業者の「責務」が言及されている

権利侵害情報等の発信・拡散を巡る対処に関する検討状況

6

2. 論点

(1) 事前の対策に係る検討（総論）

③ 事前の対策と網羅的監視義務の関係

- プラットフォーム事業者に対し、権利侵害情報等の流通に関する網羅的な監視を求めることは、行政がプラットフォーム事業者に対して検閲に近い行為を強いることとなること、実際には権利侵害情報ではなかったとしても疑わしい情報を全て削除するなど、過度な削除等により利用者の表現の自由に対する実質的な制約をもたらすおそれがあること等を踏まえた検討が必要。
- 近年の各国トレンドとして、プラットフォーム事業者には安全で透明性の高いオンライン環境を確保するため、社会的影響に見合った対応を実施する義務があるといった、「責任」(liability) から「責務」(responsibility) への議論の流れも存在。
- DSAでは、事業者に一般的監視義務はないしつつ、サービスの種類、規模及び性質に合わせて社会的影響に見合った形で、事業者が果たすべき義務がデューデリジェンス義務として規定。
- 権利侵害情報等の事前の対策と網羅的監視義務の禁止の関係について引き続き検討。

プラットフォームの安全性確保に真摯に取り組んできた

コミュニティガイドライン実施レポートの位置付け

このレポートについて

TikTokのミッションは「創造性を刺激し、喜びをもたらす」ことです。TikTokは、コミュニティが自由に創造し、つながりを深め、楽しむことができるように、安全とウェルビーイング、誠実さを優先しています。

数千人に及ぶ安心安全の専門家が先進的なテクノロジーと連携し、当社のプラットフォーム上のすべてのコンテンツに適用される、厳格なコミュニティガイドライン、利用規約、広告ポリシーの維持と遵守を徹底しています。今回の最新レポートでは、こうした取り組みを詳しく取り上げながら、当社が信頼性、真正性、説明責任へのコミットメントをどのように維持し続けているかをご紹介します。

権利侵害情報等の事前対策につき検討とされている

権利侵害情報等の発信・拡散を巡る対処に関する検討状況

6

2. 論点

(1) 事前の対策に係る検討（総論）

③ 事前の対策と網羅的監視義務の関係

- プラットフォーム事業者に対し、権利侵害情報等の流通に関する網羅的な監視を求めることは、行政がプラットフォーム事業者に対して検閲に近い行為を強いることとなること、実際には権利侵害情報ではなかったとしても疑わしい情報を全て削除するなど、過度な削除等により利用者の表現の自由に対する実質的な制約をもたらすおそれがあること等を踏まえた検討が必要。
- 近年の各国トレンドとして、プラットフォーム事業者には安全で透明性の高いオンライン環境を確保するため、社会的影響に見合った対応を実施する義務があるといった、「責任」(liability) から「責務」(responsibility) への議論の流れも存在。
- DSAでは、事業者に一般的監視義務はないとしつつ、サービスの種類、規模及び性質に合わせて社会的影響力に見合った形で、事業者が果たすべき義務がデューデリジェンス義務として規定。
- 権利侵害情報等の事前の対策と網羅的監視義務の禁止の関係について引き続き検討。**

情プラ法や自主取組を踏まえ実態に即した検討を求める

権利侵害情報等の事前対策に関する 受け止め

- 我が国では、情プラ法により、大規模プラットフォーム事業者に対し、権利侵害情報への迅速な対応に加え、送信防止措置の基準や実施状況の公表等、コンテンツモデレーションに関する各種義務が既に課されている。
- 今後、我が国で権利侵害情報等の事前対策を検討する際には、まず、情プラ法による既存の規律や事業者が自主的に実施している取組を踏まえ、現状どのような課題が残されているのか、新たな対応が必要な範囲はどこなのかを十分に整理することが重要である。その上で、各サービスの特性や実際の運用、技術的な実現可能性を十分に理解し、既存の取組との重複や表現の自由への影響にも配慮しながら、実態に即した検討を進めていただきたい。

情プラ法・透明化法の報告、透明性レポート公表等を実施

権利侵害情報等の発信・拡散を巡る対処に関する検討状況

7

2. 論点

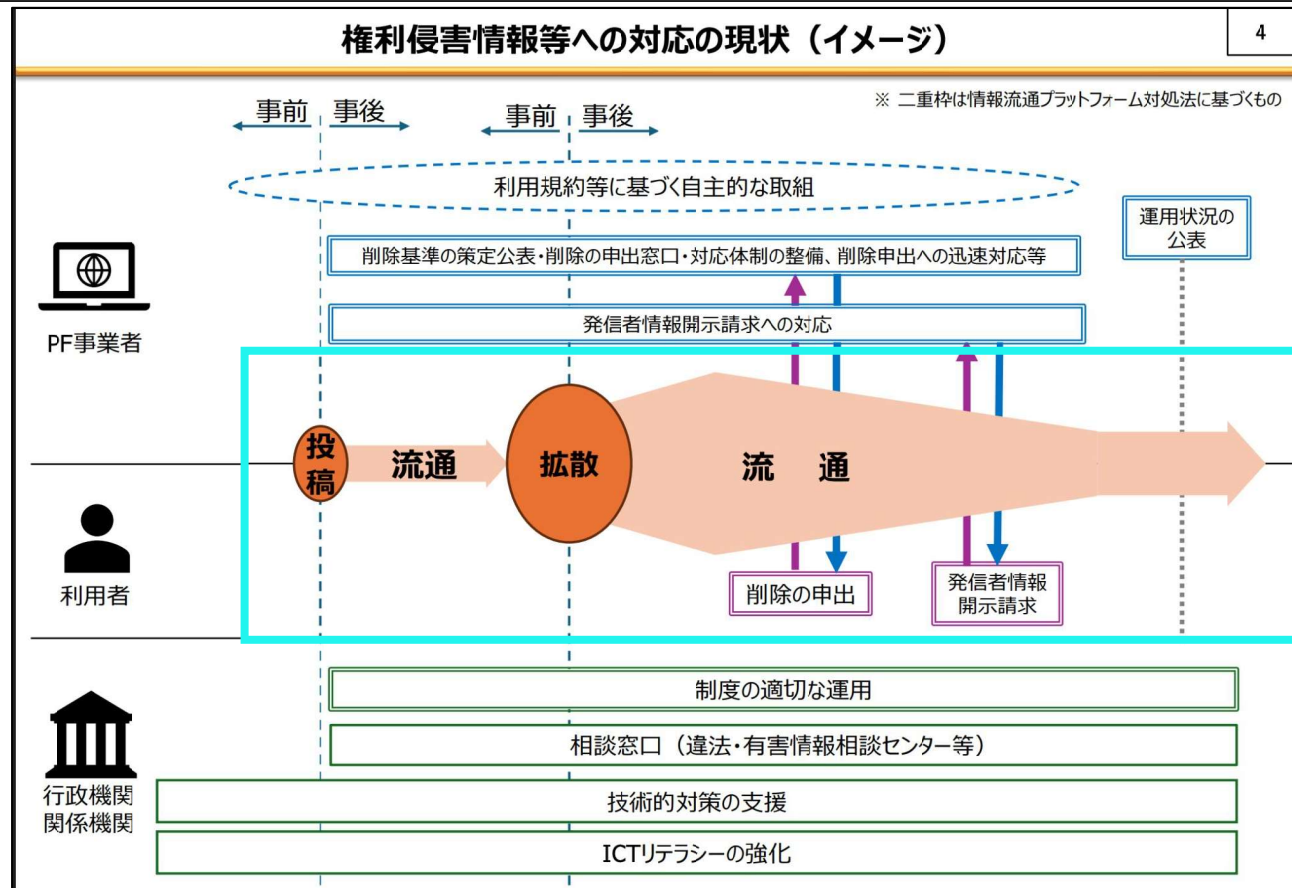
(2) 権利侵害情報の発信・拡散の事前の対策に関する役割の検討

① 行政機関の役割

- 情報流通プラットフォーム対処法に基づく透明性レポート等を通じた、各事業者の取組状況の継続的収集は重要。
- 事業者による権利侵害情報等への対応状況について、利用者のサービス利用に当たって参考となるような情報提供の在り方について検討することも考えられる。
- サービス設計やアーキテクチャレベルでの対策には相応のコストが生じることを踏まえ、事業者が対策を採ることにインセンティブを生む仕組みを検討する必要。
- SNS上での情報流通の実態を把握する取組の検討も必要。
- 事業者との対話を通じた対策の土壌形成といった進め方も重要。

2. 権利侵害情報等の発信・拡散に 事前に対応することに資する取組

CG違反コンテンツの流通・拡散防止を自主的に実施



コミュニティガイドラインを定めモデレーションを実施

コミュニティガイドライン

- すべてのユーザーが遵守すべきルールを策定・公表
- プラットフォームも遵守するもの＝コンテンツの審査・削除等の基準

動画の審査・削除

- **すべての動画を24時間365日体制**で審査し、コミュニティガイドラインに違反するコンテンツは削除・アカウント停止等の対応
- 生命身体の危険がある場合、関連当局に連絡

コミュニティガイドライン

- はじめに
- コミュニティ原則
- 未成年者の安全とウェルビーイング
- 安全性と礼節
- 精神的健康と行動の健康
- 慎重に扱うべきテーマと成人向けテーマ
- 誠実性と信頼性
- 規制対象品と商業活動
- プライバシーとセキュリティ
- おすすめフィードの適確性基準
- アカウントと機能
- 執行

コンテンツ違反



コミュニティガイドラインに違反しているため、動画は削除されました

動画の詳細
06-26 12:25の投稿



コンテンツ違反

コミュニティガイドライン

誤りでしたか？ 異議申し立てを送信

的確にモデレーションを実施するための仕組みを構築

日本語を主要言語とする審査員からなるコンテンツ審査チームが、日本に存在

- 日本の文化的背景も理解した、日本語を主要言語とする審査員が審査を行っています。審査は24時間365日体制で実施しています。
- 新たなコミュニティガイドライン違反の傾向について、継続的に審査員のトレーニングを行い、審査チーム内で最新情報の共有を行なうことで、精度の高い審査を実施。
- 不適切な偽誤情報のトレンド等を確認した場合は、その要素を自動モデレーション技術に学習させる等の対応

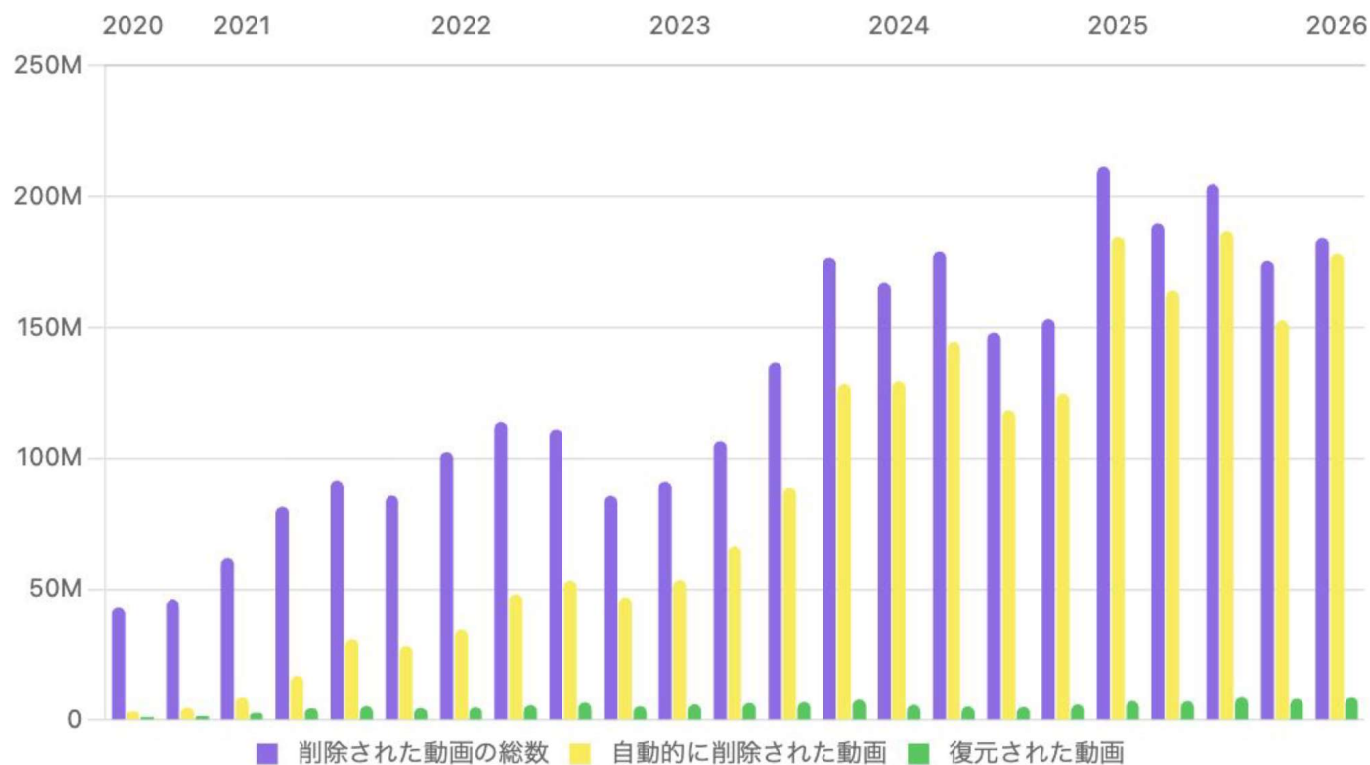
外部のファクトチェック機関とも連携

2020年以来、TikTokは50か国語以上をサポートする、
世界中の**20以上**のファクトチェックパートナーと連携しています。



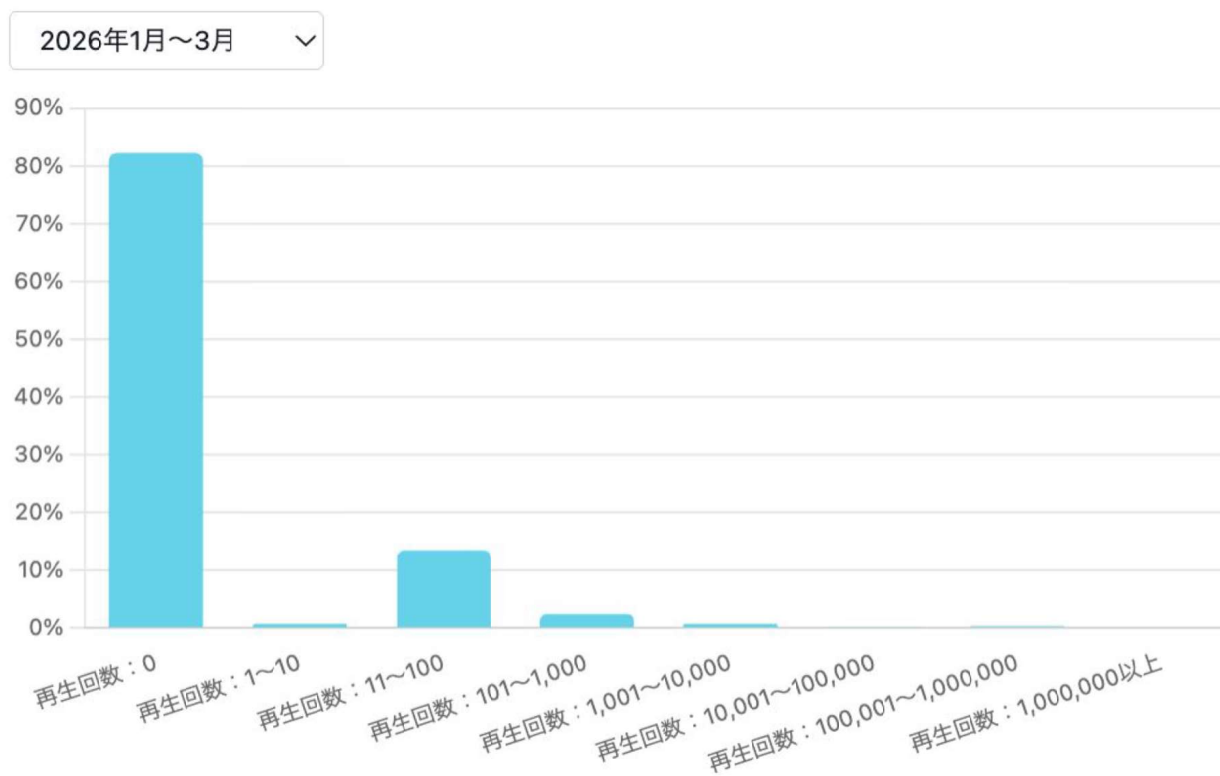
CGに沿って機械によるモデレーションも鋭意推進

動画コンテンツの削除件数(グローバル)



投稿後でも8割以上が流通前(再生回数0)に削除

動画コンテンツが削除されるまでに再生された回数 (グローバル)



CG違反のコメントに対し Rethinkを促す

- コメントの**Rethink（再考）機能**
 - 不適切なコメントを投稿しようとするユーザーに、コミュニティガイドラインに違反する内容を含む言葉が含まれたコメントであることを通知し、コメントの再考を促す機能
 - Rethink（再考）機能の通知が表示された未成年ユーザーのうち、かなりの割合がコメントを編集しなおしている
 - ただし、表現の自由に配慮し、かなり抑制的に運用している



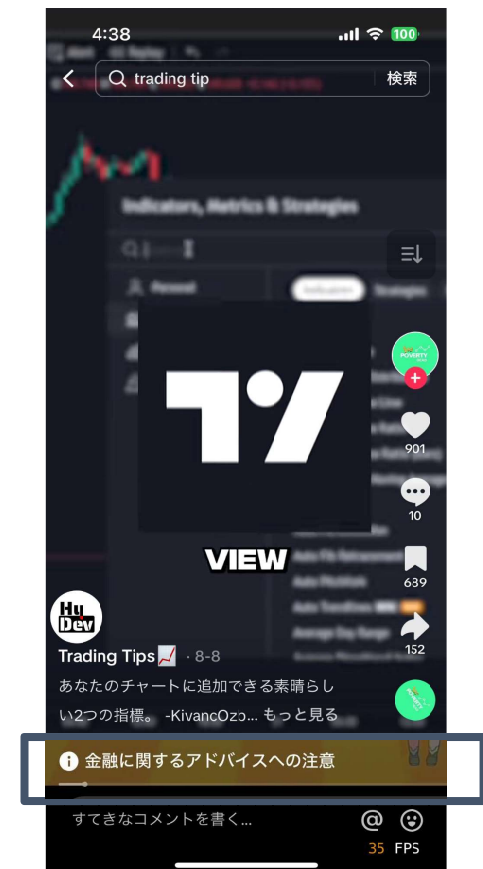
詐欺に繋がりやすいコンテンツにはバナーで注意喚起

関連動画への注意喚起のためのバナーの表示

- 投資に関連するハッシュタグが使用されている動画の下部に「金融に関するアドバイスへの注意」と表示。クリックすると検索バナーと同じ注意喚起ページに遷移する。

安全に関するウェブサイトの更新

- セーフティセンター(安全に関するウェブサイト)における詐欺に関する情報を更新し、金融庁・消費者庁の相談窓口に加えて、**闇バイト**に関する警察相談窓口「#9110」を掲載。



CG違反コンテンツ・LIVE配信は収益化を停止

投稿動画が、再生回数に応じて自動的に収益化されないプラットフォーム

- TikTokでは、投稿される動画と広告は直接に紐づいておらず、ユーザーの投稿した動画が、**自動的に再生回数に応じて収益化される仕組みではありません。** そのためクリエイター育成プログラムに参加していない一般ユーザーの**投稿が自動的に収益化されることはありません。**

収益化プログラムにおいても、不適切なコンテンツは収益化できない仕組み

- クリエイター育成プログラム「Creator Rewards Program」
 - **厳格な参加基準**（高品質な投稿を継続していること、コミュニティガイドライン違反がないこと等）が定められており、**誹謗中傷・偽誤情報を投稿するユーザーはプログラムから除外されます。**
- LIVE配信（ギフトによる収益獲得）
 - LIVE配信にも24時間365日体制で審査が入っており、誹謗中傷や偽誤情報などCG違反の情報を発信している場合、LIVE停止等の措置を実施しています。

LIVEではセッション中断/収益化停止を組み合わせて対処

LIVEセッションの中断件数(グローバル)



3. 災害発生時のインターネット上の 情報流通に関する取組

地震・津波で検索した際、信頼できる情報に誘導

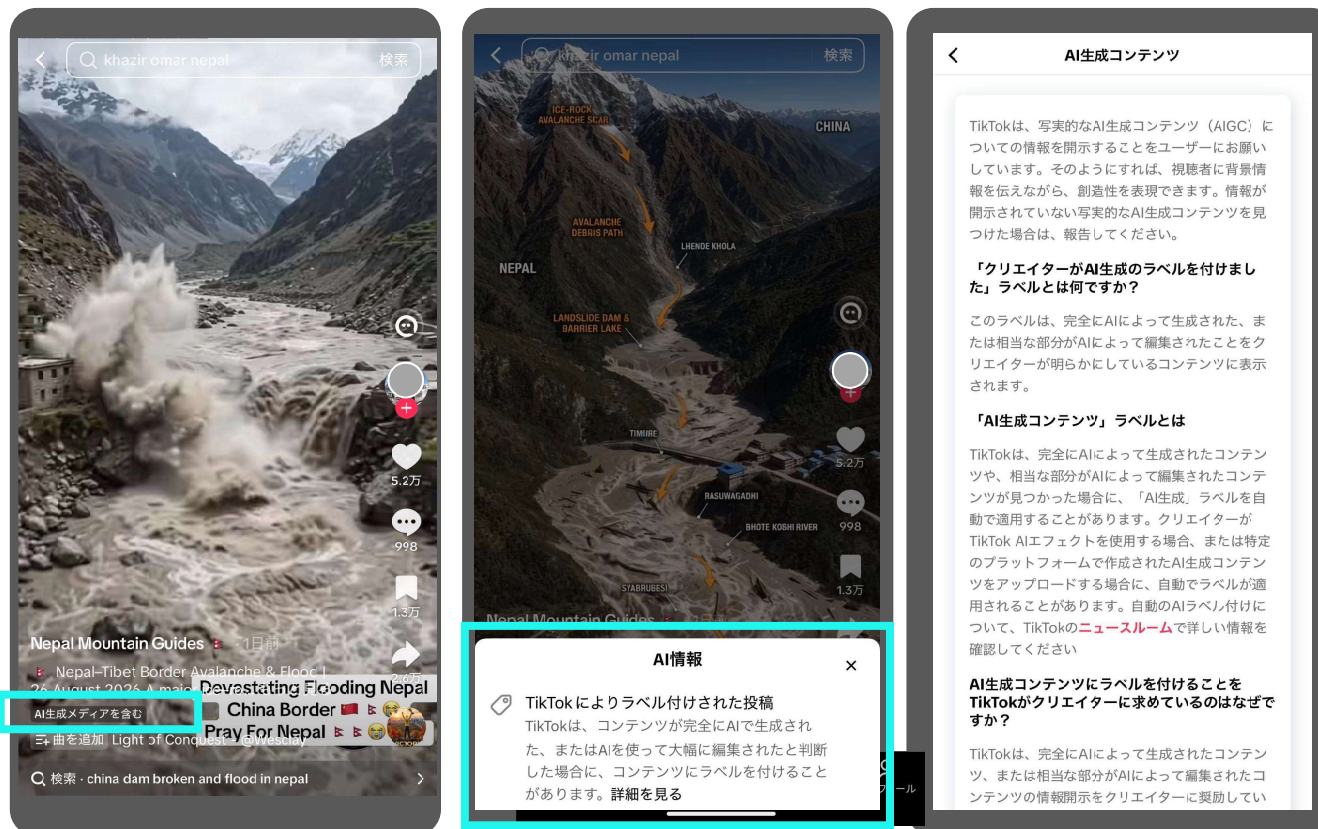
災害関連キーワード検索時の情報案内



誤解を招く情報拡大防止のため AI生成ラベルを表示

AI生成ラベルの表示

- AI生成コンテンツを投稿する際にはラベルをつけることを義務付け
- ラベルをクリックすると、関連するコミュニティガイドラインへのリンクや、ラベルの趣旨を説明するガイドに遷移



災害時に信頼できる情報を優先表示

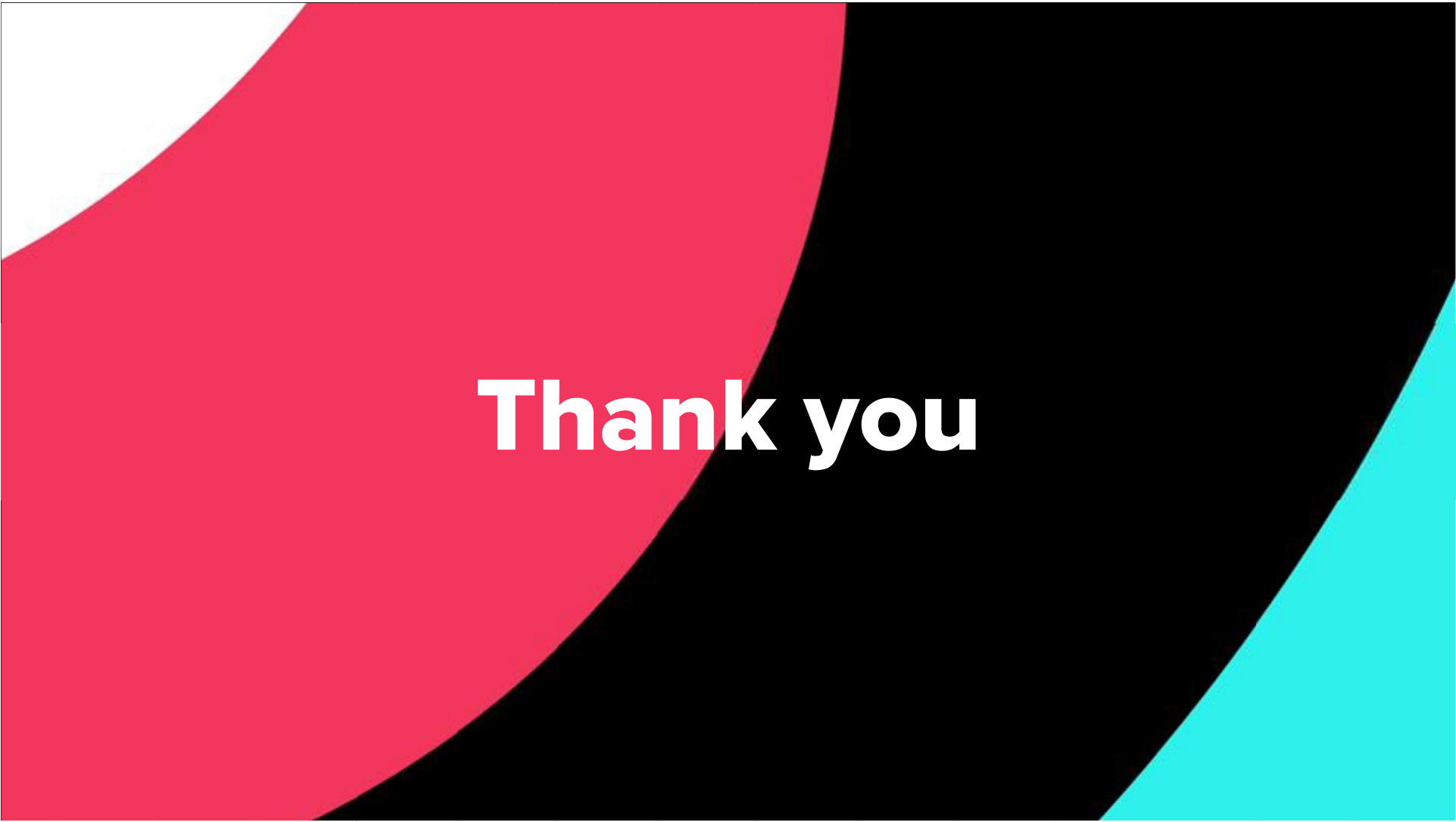
気象情報会社ウェザーニューズと連携して、 信頼できる災害情報を優先表示

- 日本国内で震度5弱以上の地震が観測されると、日本のTikTokユーザーに対して自動的に地震速報をプッシュ通知
- タップすると気象情報生放送番組「ウェザーニューズLIVE」へ遷移し、さらに詳しい情報を正確に伝達

信頼できる情報のプロミネンスを高めるため、
政府機関からの積極的な情報発信もお願いしたい

Confidential





Thank you